

地区目標

「美しい心、ロータリアンの矜持
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」

クラブテーマ

「あなたのロータリーをみつけよう」

- ◆点鐘：半田 稔 会長 ◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ
◆司会：西谷 真一 S.A.A. ◆会場：大沼デパート

ロータリー：
変化をもたらす

第2777回例会 平成29年 7月3日(月)



Yamagata West Rotary

会長挨拶

半田 稔 会長



新年度、第1回例会を迎えることができました。準備にご尽力いただいた五十嵐幹事をはじめとする理事、役員、委員長の皆さま、今日は午前10時ごろから会場設営をいただいたS.A.A.の皆さまに心から感謝申し上げます。これから1年間、会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

新年度、とお話ししましたが、ロータリーの年度はなぜ7月からなのかと考えたことはありませんでしょうか。アメリカの年度は10月から翌年の9月まで。日本と同じ4月から3月までというのがイギリス、カナダなど。それから、7月から6月がオーストラリアやスウェーデン。そして、1月から12月というのが中国、韓国、フランス、ドイツなど大多数であります。今日は年度についてのお話をさせていただきます。

日本の年度は何で決まっているかと言いますと、国と地方公共団体につきまして、会計年度が4月1日から3月31日というふうに国は財政法、地方公共団体は地方自治法という法律で定められています。この会計年度を1年の区切りとして、役所では事業や人事なども行われるようになっていくというのです。

実は明治政府になってから、会計年度という考え方が設けられたのですが、最初は10月からその後1月から、7月からと何回も変わって行って、明治19年の4月から現在の4月からになったようであります。

当時の国の収入はもっぱら農業。特に稲作に頼っていましたので、秋に収穫した米が現金化され、これを徴収し、踏まえて次の年の予算を立てようというタイミングからして、4月からが都合良かったと言われていました。当時、参考にしていたイギリスの影響もあったと言われております。

本題のロータリーの年度ですが、ご存知の通り1905年にシカゴにロータリークラブが生まれて、1910年に、全米ロータリークラブ連合会というのが設立されました。

1912年にロンドンロータリークラブというのができて、国際ロータリークラブ連合会、現在の国際ロータ

リーの前身が生まれたということです。その当時は、国際大会が8月に開催されていて、その大会から大会までを当初は会計年度にしていたということなんです。

しかし、その大会に向けて、各クラブが余裕を持って報告書を準備できるようにした方がいいのではないかと、会計士さんのアドバイスもあって、1914年から会計年度の最後を6月30日としましょう、と決めて、1914年の7月1日から現在の年度がスタートしたということになります。

その後、国際大会が8月では暑過ぎるということで、現在と同じ、6月に行われるようになりましたけれども、ロータリー年度は7月1日から6月30日というのがそのまま続いていると、いうことでもあります。

幹事報告

五十嵐 信 幹事

●本日は第1例会でございますので、例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、お残りください。

●年次計画書用の写真を本日撮影させていただきます。

●東ロータリークラブから周年のご案内がきております。創立30周年になります。9月9日土曜日、ホテルキャッスルで行います。なお、東クラブから当西クラブに15人来て欲しいときてますので、ご希望の方と、それとクラブ協議会のメンバーにご案内をさせていただきたいと思っております。



委員会報告

親睦・家族委員会

遠藤 正明 委員長

ビアパーティー

来週7月10日の夜は、ビアパーティーでございます。前回の最終例会が大変盛大に行われましたので、その勢いを持って質素に行いたいなと思っております。皆さんに浴衣とかアロハで来ていただいて、皆さん自身に楽しんでいただくことが、大事だなと思っています。まだ出欠をいただいている方がおられるようですので、是非〇と書いて、事務局にお出しく下さい。よろしくお願いいたします。

会員・奥様誕生日

会員の方が7名、奥様が4名、7月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

ニコニコBOX

半田 稔 会長、五十嵐 信 幹事 / 1年間よろしくお願いいたします。

小林 恵一 さん / 半田、五十嵐年度のスタートを祝して、ニコニコします。

ニコニコBOX委員会 / 新年度スタートにあたり、1年、皆さまのご協力をお願いいたします。

会長、幹事、S.A.A. 会計 年度方針説明



会長方針

半田 稔 会長

国際ロータリー、第2800地区そして西ロータリークラブ

西ロータリークラブは昨年度、60周年を迎えました。鈴木隆一会長、豊田義一実行委員長のもとで記念事業、記念式典とも滞りなく行われまして、対内的にクラブの団結力も高まりましたし、また、対外的に、山形西ロータリーの底力ということを示すことができたのではないかと考えております。60周年を踏まえまして、ロータリークラブは70周年、80周年、さらには100周年を目指してこれから続いていくと思っております。

その踏み出す第1歩の61代会長の重責を担うことになりまして、身の引き締まる思いでございます。

ロータリークラブですが、1905年にわずか4人のメンバーで発足したわけですが、現在は世界200以上の国と地域、会員も120万以上という組織になっております。任意団体が、このように100年以上も存続し、世界的な広がりを見せている例というのはほとんどありません。これはロータリークラブの会員が、ロータリーの目的を実現して日々精進し、また社会的にも高い評価を得たからというにはほかならないと考えております。

今年度の国際ロータリー、RIのテーマが「ロータリー：変化をもたらす」。英語で「Rotary making a difference」、ちょっと違いを作るということで、日本語としては「変化をもたらす」と訳されております。

このRIテーマを作ったことについてですが、ロータリアンの1人1人が、ロータリーをそれぞれ独自の解釈で理解している。それぞれが奉仕をしています、その奉仕の形はさまざまである、と。しかしながらすべての

ロータリアンが、奉仕をすることによって人々の人生に変化をもたらしている。自分も変わるし、地域社会も変わるし、職場も変わる。ロータリーによって変えることができるんだということを皆さんが考えている。ロータリーで充実感を得ることができるからロータリーに留まり続けるのだ、ということをおっしゃっていただけます。

これを受けて、国際ロータリー第2800地区では地区目標を定めております。それが「美しい心、ロータリアンの矜持～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」ということです。

細かい内容としては、まず修養。ロータリアンとして自己研鑽をしましょう、と。それから友情。ロータリアン同士の友情を大切にしましょう。それから情熱を持ってやりましょう。情熱によって人は動かし、事態も動かすことができる、と。それとロータリーの根本である奉仕を行いましょう。そして目的として平和、世界平和をもたらしましょう。そういうことをすることによってロータリアンであることの感動を得られるんです、とおっしゃっています。

それを踏まえて、私なりのテーマを考えさせていただきました。皆さんはさまざまな目的、あるいは期待を持って当クラブに入会されていると思います。入会される前からロータリーの目的を理解し、ロータリーに入ること自分が高められるということに入会された方もあれば、知人、友人に誘われてなんとなく入会されたという方もいるかと思っております。

実際に入会されてどうでしょうか。親睦活動は楽しいという方もあれば、団体で奉仕活動ができるということに喜びを感じる方もいらっしゃるでしょうし、卓話であるとか、ロータリー行事に参加するという事で、自分が成長しているということを実感される方もいるかと思っております。

やはり皆さんロータリアンであるという誇りはお持ちでしょうか。どこからその誇りは生まれてくるのか。皆さんはただロータリークラブに名前を載せてるだけではありません。会費を払っています。お仕事などでお忙しい中、日中の時間を割いて例会に出席されております。それから奉仕活動ということがありますと、自らの労力を提供されております。そういうことをしながらなぜロータリーを続けているのか。やはり理由は人それぞれではないかと考えます。ロータリアンはこうあるべきだという、絶対的な定義と絶対的標準というのではないのではないかと、私は考えているところであります。

なぜ自分はロータリアンであるのか。自分なりのロータリアンであるということの意義を、改めて考えていただけないかなと考えているところです。

私は今年度のクラブのテーマを、ここに書いてありますが、「あなたのロータリーを見つけよう」にさせていただきます。やはり自分の人生、仕事、生活の中で、ロータリーというのがどのような意味があるのかということを考えていきたいなと。さらに進んで、自分の言葉で、ロータリーというのはこういうものだ、自分はこれだからこのロータリーにいるんだということを語れるようになっていきたいなと思っております。

RI会長のテーマに至るところで、知人から「ロータリーとは、なんですか」と聞かれて、答えようとして思わず口ごもってしまった、と。「ロータリーとは何か」と、自分がわかっていなかったわけではないけれども、ロータリーがあまりに大きく複雑すぎて簡単に説明できないということがあったということなんですね。またじっくり考える中で、やはりロータリアンそれぞれが、自分の解釈をしているということに至ったということを言われています。

私も自分なりのロータリーを見つけたいと思っておりますが、では何をすればいいのか。そのためには、さまざまなロータリー行事に参加していくことによって、私はこれが楽しいから、これが自分のためになると思うから、

ロータリーの例会、行事に参加してるんだ、ということを実感していきたいなと思います。

各委員会の皆さまもさまざまな行事を企画していただいて、それに積極的に参加していただきたい。その中で、私は本当に例会が楽しいという方もいれば、夜の懇親会が楽しいという方もいらっしゃるでしょうし、奉仕活動、これをやったことで自分はロータリアンだと実感するということもあっていいのではないかなと思います。ただ、最低限のルール等ありますので、自分はちょっとこれは苦手だと思うことにも、協力していただきたいと思います。

各委員会にお願い

さて、各委員会に対してさまざまな要望を出しております。6月頃から委員会ごとの委員会を開催させていただきまして、それぞれの委員会ごとに要望は言わせていただいています。改めて全体の中で簡単に要望をお話させていただきます。

まず、クラブ管理運営常任委員会。出席委員会につきましては、目標としては出席率95%ということを出させていただきました。また100%出席例会も、欠席がちの会員に出席するきっかけになるということで、これも企画していただきたいというお願いをしています。

親睦・家族委員会には例年通り、親睦の企画ということをお願いしています。ビアパーティー、クリスマス家族会、新年会、観桜会という例年どおりの事業がございますので、ぜひお願いいたします。

プログラム委員会ですが、今年度は原則重視ということで、例会を充実したものにしていきたいと。卓話での魅力ある講師の選定をお願いしています。またロータリークラブには大変優秀な人材が集まっているので、会員の話もされてはどうかということで、その機会を多く設けてほしいということをお願いしております。

友好クラブ委員会。今年は友好クラブで周年事業がないということです。来年に高知南が50周年記念がある予定でありますので、その準備などをお願いしたいです。

次に会員増強常任委員会ですが、会長経験者で構成されております職業分類委員会には会員選考委員会の役割も併せて担っていただくことにしました。ロータリーの入会候補者の選考と、職業分類の見直しということを例年どおりお願いしております。

会員増強委員会ですが、ここで残念な報告があります。昨年終わりの段階で、105名の会員まで至ったわけですが、実は6月までに5名の方が退会されました。今年度はほぼ100名からのスタートということになります。たくさんの会員がいると、さまざま事業もできるということもありますので、会員数100名は維持したいと考えております。ぜひ増強委員会には新規の会員を3名は入会させていただきたいとお願いしています。

ロータリー情報委員会につきましては、新入会員の教育等をお願いするということでファイヤー・サイド・ミーティングなどの企画をお願いいたします。

クラブ広報常任委員会ですが、会報委員会につきましては見やすい、情報の入った会報をお願いします。

職業奉仕常任委員会ですが広報雑誌・史料管理委員会は、国際ロータリーの公共イメージ向上と、対外的に印象を上げるということを重視していますので、特に広報にも努力していただきたいと考えております。

職業奉仕常任委員会には職業奉仕に関しての職場訪問例会、それから職業奉仕関係の卓話などの企画をお願いしております。

職業交流委員会については交流を深めるということで、球風会の運営などをお願いしております。

奉仕プロジェクト常任委員会ですが、社会奉仕委員会

につきまして、クラブ一丸の社会奉仕活動というのがクラブの団結にとって有効ではないかと。それから、例年やっております「復興芋煮会」ですが、これは対外的にも大変評価を受けていますので、準備が大変ですが今年度も実施の方向で検討していただき、ぜひ多くの皆さまのご協力をいただきたいと思います。

ニコニコBOX委員会につきまして、お金集めで大変でありますけども、ご努力をお願いしたいと思います。

青少年委員会ですが、実は青少年交換留学生を引き受けております。最終例会で山形から派遣する小林由佳さんを紹介されたわけですけども、その交換でブラジルから男子高校生1年生が1年間、山形に来られるということで、その引き受けを責任をもって行うということであります。引き受け先の確保も大変でありますし、引き受けるために予算も必要だということでありまして、この青少年委員会、今年は大事な委員会になっております。

ロータリー財団・米山奨学会常任委員会であります。こちらは地区から、ロータリー財団委員会につきましては150ドル、それから米山奨学会委員会につきましては15,000円という目標が出ておりますので、これの達成を第一にお願いしたいということでありまして。

S.A.A.ですけれども、例会がロータリーの基本ということで、その雰囲気作りをお願いしたいと考えております。禁煙につきましてはほぼ定着していると思いますので、愛煙家の方には大変恐縮なんですけども、例会場内での禁煙ということは継続させていただきたいと思います。

最後にですが、RI会長のライズリー氏が環境保全のために、すべてのロータリアンが1人1本の植樹をしてほしいということを提唱されておりまして、鈴木ガバナーもこれに協力しようということ、提唱されています。ぜひ会員は、例えばご自宅であるとか職場で1本木を植えるとか、あるいは植樹イベントなどがあればそれに参加していただいて、クラブ会員全員が1本の植樹をしたという結果が出るようになればな、と考えております。

以上のことにつきましては、今後発行されます計画書にも記載してありますので、読んでいただければと思います。1年間、ご協力よろしくお願いいたします。



幹事方針

五十嵐 信 幹事

半田会長の方針に基づいて、全てのプログラムが半田会長の考えに沿っているように全部調整しながら、1年間やっていきたいと思っております。

格調高く誇り高く、山形西ロータリークラブの会員であって本当に誇り高いのと、皆さんに思っただけ。あるいはこのクラブにいて、本当に楽しかったのと、素晴らしいことだと全員に思っただけのようなクラブの運営をしたいと思っております。

実は今年度から例会は24回以上開けばいい、ということになりました。うちのクラブは、今年の例会は39回です。去年が41回ですので2回減ります。全国平均といいますが、僕が調べた中では一番少ないところが36回で、多いところは44回。大体このくらいでやるんだなと。どうということかといいますが、1つ1つの例会の重みというのをますます重くしなきゃいけないと。例会をきちんと充実させて、やっていきたいと思っております。

今年もよろしく申し上げます。



S.A.A. 方針

西谷 真一 S.A.A.



会計方針

後藤 章洋 会計

まずは出席したくなる例会づくりを目指して、あいさつの励行、そういったものから始めさせていただいております。本日10時から、皆さんのネームプレートの、この各所属委員会のテープの貼り替えの作業を実は毎年させていただいております。

食事に関しまして、主に皆さんの健康を考慮しまして、基本は日本食でいきたいと思っております。あと季節を感じる旬の食材をできるだけ皆さんにご提供できるようにお願いしております。好みも千差万別ですので、口に合わないな、というときには遠慮なく、S.A.A.のほうに「今日はおいしかったよ」とか「今日はうーん」という形のニュアンスを、遠慮なくお伝えいただいてもかまいませんので、ひとつよろしく願いたいと思っております。

多くの先輩方から、「会計をやればクラブの運営であったり、ロータリーの中身であったり、いろいろ勉強できるからいいんだよ」というようなお話をお伺いいたしております。適正な会計業務の遂行というのはマストでございますけれども、せっかくいただいた機会でございますので、これをチャンスと捉えて、本年度いろいろロータリーの勉強をさせていただければと思っております。方針というか、意気込みという形で、皆さんに捉えていただければと思っておりますが、いずれにしてもご迷惑のかからないように頑張らせていただきたいと思いますので、よろしく願います。

今年度は私たちに任せください

2017 ~ 2018 年度役員委員長一同



<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (7/3)	100名	66名	修正出席 (6/12)	105名	90名	83名	92.22%
メイクアップされた会員	(山形中央) 菅原 茂秋、風間 義朗 (山形南) 堀田 稔 (山形) 酒井 啓孝、堀田 稔、長岡 壽一、風間 義朗 (山形北) 山賀 賢司、平吹 和之、長岡 壽一 (山形東) 風間 義朗、山賀 賢司						